

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－
	○	コンビニ（経営者）	・観光客が戻りつつあるので、今後の観光客の増加が期待できる。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・来客が戻ってきているが、再度新型コロナウイルス感染者が増え、その対策ができていないので、変わらないと考える。
	□	百貨店（店舗企画）	・11月の動向から、年末年始に向けて更に回復を期待して、良くなると答えたいが、全国的にも当地でも感染者が増加傾向で先がみえなくなっている。
	□	スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス禍の影響と新規競合店の影響はまだ続くとみられる。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が来店客の増減に大きな影響を与える。現時点では来店客が多くなりつつあるも、最近では新型コロナウイルス感染者の増加傾向、第3波がみられることで更なる自粛が掛かる可能性もあり、現状維持若しくは悪くなる可能性も秘めている。
	□	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス次第で大きく上下する。県内感染者が30人前後で推移すれば好転していくと考える。
	□	コンビニ（副店長）	・例年だと年末年始で売上が見込めるが、今年度は新型コロナウイルス禍で迎えるので正直なところ予測ができない。今後の感染状況、政府の対応によっては閉塞感が広がり、経済の更なる低迷が心配である。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今年は例年になく暑い日が続いていたため、秋冬商材の動きが鈍い状態が続いている。このままでは、これからセールの時期に入ってくるため、利益が圧迫されてしまう。まだまだ景気が良くなる気配は感じられない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・個人住宅、投資案件など建築受注契約に近い案件も多く、当面はこの景気が続くとみられる。
	▲	スーパー（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポン券の利用増加で売上の底上げが見込まれるも、年末年始需要やギフト需要の縮小が懸念される。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・年末年始は書き入れ時期であるが、世間が自粛モードの状態では景気は良くならないと考えられる。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・Go To Travelキャンペーンでは販売してはいけない商品、度重なる仕様の変更、出張等販売不可などがある。全ての旅行会社が一般客向けだけではない。特化型、企業専門やインハウスの旅行会社などはいきなりはしごを外された感がある。もちろん観光利用への大義名分はあるが実際の線引きが曖昧すぎる。
	▲	通信会社（サービス担当）	・格安スマートフォンの台頭などで新規、機種変更が苦戦している。
	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、今後外出を自粛する動きが出てくる可能性がある。景気が上向きになるとは考えにくい。
	▲	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・Go To Travelキャンペーン終了予定の影響か、来年2月以降の先行予約が前年比50%にも満たない非常に厳しい状況である。
	▲	住宅販売会社（役員）	・新型コロナウイルス流行の第3波が気になる。
	×	商店街（代表者）	・現在新型コロナウイルスが大変流行しているので、ワクチンが出て、来客が多くならない限りは、零細企業は大変厳しい状況である。これが全体の経済に波及している状態であり、大変危機的状況下にあるとみられる。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、ドーナツ化現象が起きており、自店舗のあるビジネス、官庁街では上から外食の抑制指示が入っており、夜はゴーストタウンのようで、週末も例年の20%台しか入客が取れていない。離島や北部の観光地の飲食店ではGo Toキャンペーンの効果もあって、売上が例年比110～120%と伸びている店舗もある。しかし、クラスターの発生も始まっており、先行き不透明である。
×	観光型ホテル（マーケティング担当）	・ホテルの11月の販売室数が前年比27.7%増とプラスなのに対して、11月末時点での2月の予約室数は前年比46.5%減と、マイナスに転じている。	
×	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルス流行の第3波により、宿泊のキャンセルが増えてきた。飲食においては、忘年会、新年会の予約がほぼない。	
企業	◎	－	－

動向 関連	○	*	*
(沖縄)	□	食料品製造業（総務）	・新型コロナウイルス禍の状況が目に見えて良くなっている感じはなく、失業率等も徐々に増加し始めており、消費マインドも低下傾向で一進一退ではないか。いずれにしろ新型コロナウイルスの終息状況が影響する。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・当面現状のまま変わらない見通しである。
	□	建設業（経営者）	・注文住宅の営業、打合せはどうしても今まで対面に頼っていたので、この新型コロナウイルスで客の来場が少なくなっている。
	□	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては、新型コロナウイルスの感染拡大で現場も戦々恐々としてはいるが、自衛隊関連の建設工事を中心に比較的好調に推移すると考える。民需は、アパート等の需要は落ちているが、壊滅状態のクルーズ船乗客に比べ、国内の旅行者は戻りつつあり、大手企業のホテル建設は持ち直している。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動の動向から、新型コロナウイルス禍での景気への不安は引き続き強いと感じている。また、全国的に広がる新型コロナウイルスの影響が、その不安を更に悪化させることを危惧している。
	□	会計事務所（所長）	・新型コロナウイルス禍の動向次第だが、将来に関するプラス材料もなければ、今以上のマイナス材料も思い当たらない。
	▲	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況にあわせて消費が減少するものとみている。11月末の連休の感染拡大状況も踏まえると、自粛ムードが広がり、ここ数か月の景気回復状況が悪化に転じると考えられる。
	×	—	—
(沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・年明けから求人数の増加が予想される。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・年初の1月は例年であれば、1年を通して最も求人数が多くなる。企業の採用活動計画も、1月以降の再開予定が多いと予測される。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加している。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・Go Toキャンペーンで持ち直したかにみえたが、やはり新型コロナウイルスの第3波の脅威はぬぐえず、景気は様子見となるとみられる。
	▲	職業安定所（職員）	・11月に入って、日本人観光客を対象としたホテルなどで求人若干復活しているが、今後の新型コロナウイルスの感染状況及びGo To Travelキャンペーンの状況により、再び求人数が減少するおそれがある。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業が新卒採用に慎重になっているのか、例年に比べ求人情報が減っているようである。
	×	—	—